

? 毎日のギモン紙面相談室



とくよう  
特養ってどんな施設?

特養とは特別養護老人ホームの略となります。  
在宅での生活が困難な要介護状態にある方に対して、  
生活全般の介護を提供する施設です。

Q 入居ができる方はどんな人?

A 65歳以上もしくは40歳~64歳で特定疾病が認められた要介護3~5か、特例により入居を認められた要介護1.2の方です。

Q 認知症があっても入所できますか?

A 可能です。しかし、暴言や暴力などで他者を傷つけてしまう方など認知症の症状によっては受け入れられない場合があります。

Q 老健との違いは?

A 老健はリハビリを行いながら在宅への復帰を目指しますが、特養は生活していただく場として終身に渡って入居することが可能です。他にも職員体制などの違いがあり、利用する方の目的に合った施設選びが大切です。

特養によって受入れの基準は異なりますので、詳しい詳細は職員へお問い合わせください。



とぴあ先生

豊富な経験と知識をもち、仲間や患者さんから信頼される、富田浜病院に勤める医師の理想像。

皆さんからの質問に、  
とぴあ先生がお答えします!

お願い

富田浜病院グループでは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、皆さまをお迎えしております。来院、ご利用の際は、ご協力よろしくお願いたします。

医療法人 富田浜病院

〒510-8008 三重県四日市市富田浜町26-14

お気軽にお問い合わせください

tel 059-365-0023

富田浜病院

検索

HPはこちら



とぴあ



Staff Voice

富田浜病院 老健通所  
リハビリテーション事業所  
介護福祉士

うえだ しょう  
上田 奨

利用者さんの感情を全て受け止め、  
自分が嬉しいと思ったことを  
利用者さんに提供していきたい。

きっかけは、中学生の時に職業図鑑でケースワーカーの仕事を見かけたことでした。そして、自分の名前に人を助けるという意味があることを知り、介護に携わることで人助けになると考え、介護福祉士を選びました。私が所属する富田浜病院老健通所リハビリテーション事業所(老健通所リハ)は、リハビリや入浴サービスなどの日常生活の介助および訓練をメインに提供しています。老健通所リハでは利用者さんのご自宅の玄関まで伺い、送迎もしています。車椅子で利用者さんを送迎する際に、玄関までの道

が険しく、とても緊張したことがありました。しかし、利用者さんの実際の生活の場に関われるということは抱える問題点などを直接見ることができ、より利用者さんに寄り添う介護の提供ができるのではないかと考えるようになり、やりがいを感じるようになりました。

私は、利用者さんの喜怒哀楽をしっかり受け止めることが大切だと日々感じています。利用者さん主体なのはもちろんですが、自分だったらこうしてもらえると嬉しいと思ったことを普段の介助に取り入れられたらと常に考えています。私は四日市の富洲原で生まれ育ったため、特に北勢地区は詳しいと思います。利用者さんの中にも同郷の先輩方がいます。生まれ育った地元に還元できるよう、これからも努力していきます。

部署  
紹介



富田浜病院 老健通所  
リハビリテーション事業所

利用者さんの「こうなりたい、こうしたい」を叶えたい。  
入浴サービスや個別リハビリテーションの提供が特徴。

富田浜病院老健通所リハビリテーション事業所は、リハビリや入浴、食事などのサービスを提供し、在宅で生活する方を支援する事業所です。送迎時は利用者さんのご自宅の玄関までお伺いしたり、自宅環境や福祉用具などのご相談も承ったりしています。利用者さんの状態に合わせた個別リハビリ、1日2回介護士が行うリハビリ体操など、運動する機会を提供。また、入浴サービスを提供し、ゆっくりとしたひとときを過ごしていただけるよう努めています。



**生活行為向上リハビリマネジメント**  
6か月間という期間限定で、月に1度担当のリハビリスタッフがご自宅へ伺い、利用者さんやご家族の「こうなりたい!」を叶えるため、助言や生活動作の確認などを行います。

**入浴後の飲み物の提供**  
入浴時間をより楽しんでいただけるよう、入浴後に利用者さんに特に人気の高かったカルピス、リンゴジュース、サイダーの種類の飲み物の提供を今年から始めました。



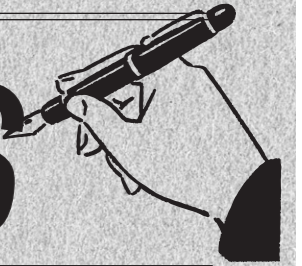
**毎月のイベント**  
ねぎ焼き、夏祭り、獅子舞など季節に準じたイベントを毎月最終週に実施。ねぎ焼きのイベントでは、ノンアルコールビールで乾杯して皆さんと楽しい時間を過ごしました。

利用者さん、  
ご家族の  
皆さんへ

私たちの事業所では、入浴や排泄などの生活機能が低下した利用者さんが「やりたい」と思っていることに焦点を当ててリハビリを行う「生活行為向上リハビリテーション」に取り組んでいます。この取り組みを行う事業所は全国でも多くありません。寝たきりでおむつ交換が必要だった利用者さんがご家族の協力もあり、自宅のトイレでの排泄や車に乗って外出ができるまでにADL(日常生活動作)が回復された方も。次の目標は商業施設のトイレの利用!ぜひ皆さんの「やりたい」をお聞かせください!

GROUP NEWS

グループニュース



TOPIC.1 三重大学との共同企画「骨粗鬆症予防セミナー」を開催

津市の温泉旅館「湯元榊原館」にて三重大学と富田浜病院が骨粗鬆症予防の講座を2回にわたり開催いたしました。1回目は5月に三重大学大学院医学系研究科の福録恵子教授が、骨粗鬆症をテーマに講演されました。2回目の7月29日(土)は富田浜病院の管理栄養士、理学療法士、薬剤師が骨の健康に必要な栄養素や運動、服薬について講義・運動指導を行いました。参加者は40~80代の約50人で、皆さんメモを取りながら真剣に聞いてもらっていました。私たちの知識・技術が地域の方々の健康増進に役立ちますよう、これからも院外での活動に取り組んでまいります。



TOPIC.2 骨密度測定装置が新しくなりました!!

骨の強度が低下して弱くなり、骨折しやすくなる病気を骨粗しょう症といいます。2035年には50歳以上の女性3人に1人が骨粗しょう症による骨折リスクがあると予測されています。

この度当院に導入されたPRODIGY Fuga-Cは、骨粗しょう症の診断・治療のため、骨折リスクの高い腰椎正面、大腿骨などの検査に対応した装置です。装置の更新に伴いまして、撮影時間が大幅に改善されました。従来ですと、1人あたり6分程お時間をいただいておりましたが、現在では2分程で撮影が終了いたします。撮影時間が短縮されたことにより、患者さんにスムーズに検査を提供できるようになりました。

今後も、安心安全な検査を提供できるようにスタッフ一同努めて参ります。



TOPIC.3 整形外科 村田耕一郎医師が、脊椎脊髄外科指導医を取得

日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医は、若手脊椎脊髄外科医の診療・研究活動を指導するに相応しいと認定された者に対し付与される資格です。指導者として認められるに足る豊富な手術経験と実績が要求されます。加えて、指導者としての良識ある人格までを含めた厳格な審査のうえで、日本脊椎脊髄病学会により認定されます。また本資格は一定の手術件数と医療安全単位取得により、5年ごとに更新のための再審査が行われます。2023年7月現在この資格を取得している医師は三重県内に15人、三河地区に2人(富田浜病院 河野稔文医師、村田耕一郎医師)です。